

2017年7月

『BGM コーディネーター』資格を取得して

BGMに携わる仕事をしていくなかで、『BGM コーディネーター』という資格は提案や説明の際に、お客様との信頼に繋がる一つの材料になるのではないかと思います。

現在に至っては、BGMはありとあらゆる場所で当然のように存在していますが、空間に対してよほど音に違和感がない限り変化を感じる方は少ないと思います。

ある意味空気のような存在ですが、世の中的には求められる場面が減ることもなく、逆に様々な種類のサービスが増え、選ぶ側としては選択肢が広がりつつあります。

ヒットチャートの楽曲で良い場合や、コンプライアンス対策、コストパフォーマンス重視など様々な目的のお客様が多くいらっしゃいますが、大変うれしいことにBGMを競合との差別化やこだわりの一つとして、音に付加価値を求めて頂けるお客様も増えてきているように感じます。

提案をうける側にしてみれば、単にBGMの提案だけですと、そのサービスに対して要るか要らないかの選択だけになってしまいます。

そこで、求められるご要望に対して、音を使った空間演出をはじめ、内装や空間のコンセプト、楽曲のジャンルや雰囲気に合わせて音響設備の設計、音源の権利についての説明など、最適な音環境を構築するために横断的な提案ができれば、BGMの価値を再認識して頂けるのではないかと思います。

『BGM コーディネーター』資格の研修会などを通じて幅広い知識を習得しスキルアップをすること また、お客様への提案などの場面で、自称で作った肩書ではない認定された資格を持っているということは、お客様との信頼関係を積み重ねる上でプラスであり有意義なことだと思います。

今後、私を含めた有資格者が音環境の提案や改善提案などでご要望にお応じていくことで、『BGM コーディネーター』の知名度が上がり、更に有資格者が増えていく、そして更に多くの提案の機会に恵まれる、そのような好循環になることを願っています。

まずは自らが楽しみながら多くのBGMの提案をし、お役に立つことができればと思います。

株式会社メディアフューチャー
梅名 耕司